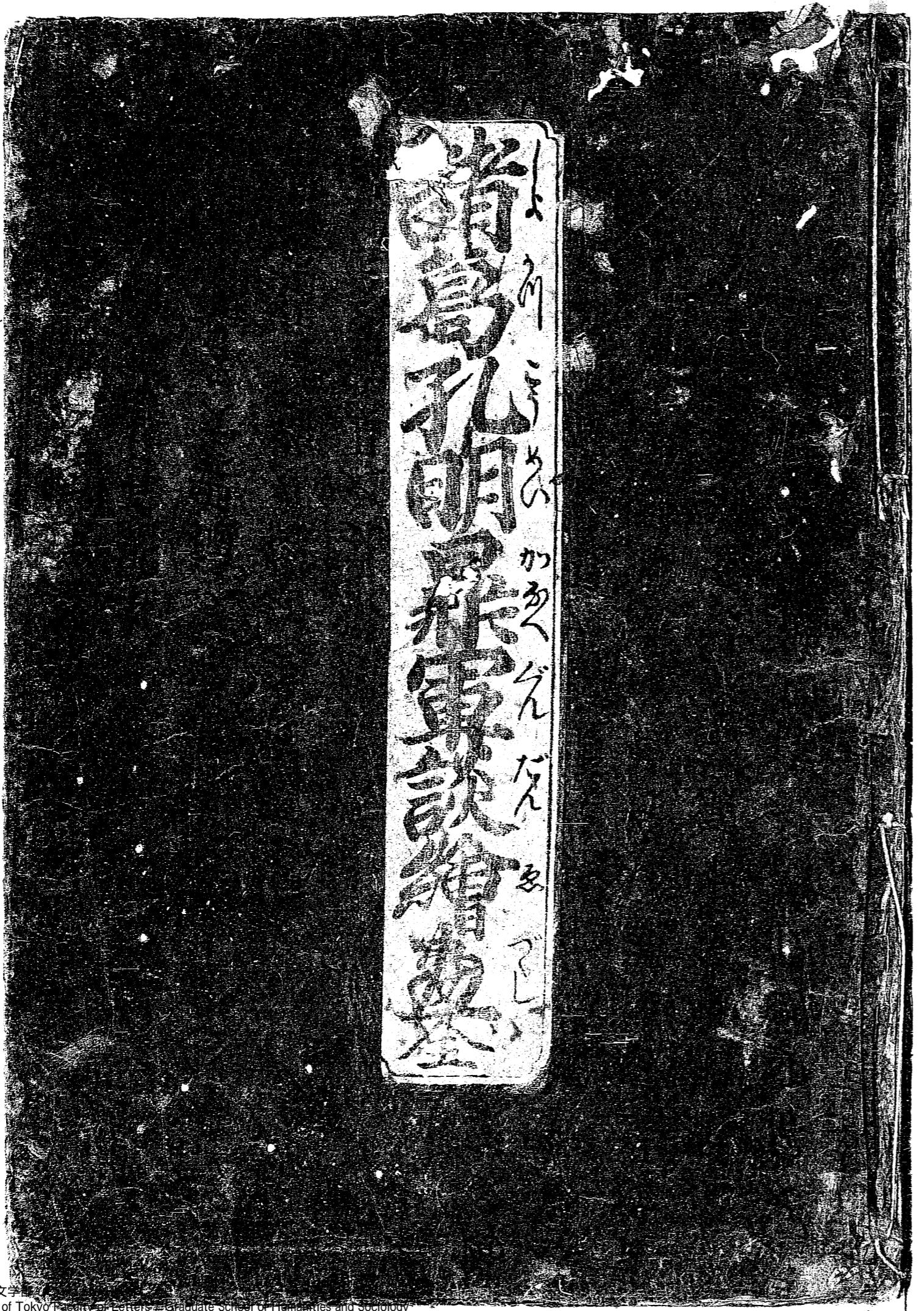


近世 22. 6-20-050



序

行田書云次様文前。予が漫遊記化文と源信ド。但伏せて千支休
源也。又とあや、かうに爲る所の代編。而して本部もと變精耗
の時、伏侍と十日余度諸葛孔明鼎軍談。出雲様一人志
を賜り。か。一字一画予が源前様磨打草木加修善哉。追譜。
又うきづ。すまほ文あら活亡悉予が伏侍のあひ般う
難。伏侍様と。伏侍よし口にわきて。とくとく様の
小名あら。國姓耶。よ肩ばき。めぐらとみ舞。又葉。みまや
モ。奥よ。か。津海行者。行田出雲と題さんと詔。伏侍と
云ふ。およ行ハ無事どり。追松が流義。行田不根絶。右行
五年万字。草稿かきひと通。某行事。税岸。伏侍のあひ

平安堂近松七十二年書





